

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表								
事業所名	てらびあぼけつと池袋教室							
公表日	2025年 10月 20日							
利用児童数	回収数 25							
	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	2		1	・大部屋でのフィードバックの際、そこで複数人の子どもが遊んでいることがあり、それだとフィードバックに集中しにくい。	・フィードバックはなるべく個室で行い、大部屋の際もなるべくほかのお子さんはいないようにする
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	24	1			・プログラムの内容により必要人数に差があると思うため、判断がつかかぬ。	・現在もひとりひとりの目標に合ったセラピーが実施できるよう、職員の配置を調整しているため、それを継続していく。また保護者が不安を感じないように、説明も行っていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24			1	・入口のスリッパと土足の区別がされるようになり安心した。	・引き続き区別がつくように取り組んでいく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こどもの活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24	1				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24			1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	1				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24	1				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	1				
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	4	8	6	・保育園に通っているため、特に問題を感じていない。	家庭の希望を尊重しつつ、地域との交流機会については本児の状況に応じて検討する。必要に応じて、園や関係機関と連携する。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25				・とても丁寧でわかりやすい説明があり安心している。	・今後もわかりやすく丁寧な説明を心がけていく。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	2	4	7		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達について共通理解ができていると思いますか。	24	1			・毎回具体的なとてもアドバイスをいただけてとても助けられている。	・今後もフィードバックなどで、お子様の状況を確認していく。またゆっくりと時間を取りたいときはその都度個別に時間を取っていく。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	3	2			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	2		2		
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8		10	7	・交流の機会はないが、必要性を感じていないため特に問題なし。	・ご家族様の希望を尊重しつつ、必要に応じて機会を設けていく。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	2		2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	2		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	1		6		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23			2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	3	1	4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	1	1	7		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	2	1	4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1		9	・事故等が発生していないため不明。	・怪我、事故が発生した際は速やかに保護者の方に連絡する体制を整えております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19	5	1		・他にやりたいことがあるときは生き渡ることもあるが、プログラム自体は楽しんでおり、帰り道では「楽しかった！」「いっぱい褒められた！」など、嬉しそうにしている	・楽しく、「できた！」という喜びをたくさん感じられるようにセラピー内容を工夫して取り組んでいます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	2			・子供と同じ母国語の先生に担当してほしい。 ・送迎があるとより一層通所しやすい。	・外国人の職員も発音や文法など、日本人職員と同等の日本語力を身につけられるよう、取り組んでいます。 またご家族様からのご希望に添えるよう配慮します。 ・ご家族様としっかりフィードバックする時間を設けるため、てらびあぼけつでは送迎を行っておりません。理念をご理解いただけるよう、丁寧な説明を行っていきます。

事業所における自己評価結果

公表					
事業所名		てらびあぼけっと池袋教室			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	5	1	定員に見合ったスペースが確保されている。	机の数を増やす必要がある。
	2		6		職員の人数が足りない時に1対1の療育が難しい時がある。
	3	4	2		
	4	1	5		季節によって、虫が出ることもあるため、防虫やごみのまとめ方を工夫している。 トイレが大人用一つの為、子供にはおまるを使用している。
	5	6		大きさが見合っていて、刺激の無い環境設定ができています。	
業務改善	6	4	2	終礼を中心に毎日行うことができている。	
	7	6		保護者からの話しを共有し、個人ファイルに記載をしている。	
	8	6		職員会議を設けて、話し合う時間を作っている。	
	9	4	2		訪問SVなどを適宜依頼していく。
	10	5	1	オンラインで講習を受けられるため、空いている時間を利用し講習を受けている。	
適切な支援の提供	11	6			
	12	6		その都度行っている。	
	13	6		常時児童発達支援管理責任による共有が行われている。	
	14	6		職員が必要に応じて計画を確認できる環境になっており、計画に沿ってプログラムを実施することができている。	
	15	4	2		用意されているアセスメント自体が標準化されておらず、必要に応じて専門職員がアセスメント内容を更新している。またそれらを共通して使用するよう、情報共有を行っている。
	16	5	未記入 1		
	17	5	1	ソーシャルセラピーなどはチームで行っている。	
	18	5	1	目標を達成できるよう、目的は同一だが、教材を変えるなどの工夫をしている。	
	19	4	2		発達年齢にあったグループ分けができないこともあったため、発達年齢やできること、苦手なことをしっかりと確認し集団活動を行っているようにする。

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		空いている時間に確認している。	支援内容や役割分担を確認しているが、忘れてしまうこともあるため、表などを用いて視覚化し、忘れがない工夫している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		終礼を中心に毎日行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1	毎日ファイリングを行っている。	記録の仕方が職員間で異なっていることもあるため、記録方法の周知を徹底していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		児童発達支援管理責任者により適宜見直しが行われている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのごどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	2	児童発達支援管理責任者が参加している。	知識が共通となるように、確認している。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		ご家族や園の希望に沿い必要に応じて園訪問を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3	ご家族の希望に沿い必要に応じて行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	4		必要に応じて機会を設けていく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	3		必要に応じて機会を設けていく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		フィードバックの際に共通理解が持てるよう、お困りごとや課題などを確認している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4		必要に応じて機会を設けていく。
	保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約の際に説明をしている。また変更がある際には、紙面などでお伝えしている。
36		児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		書類や口頭で確認する機会を設けている。	
37		「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		児童発達支援管理責任者により実施されている。	
38		定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
39		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5		今後必要に応じて機会を設けていく。
40		こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
41		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		SNS、ブログなどを通じて保護者への共有を適宜行っている。	
42		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			職員間で共通認識を持てるよう、確認を行っていく。
43		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
44		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1		

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			研修自体は行っているが実際に行ったことはないため、実際の場面で慌てないように、今後も継続して研修を行っていく。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	3		現在は食事を提供していないため、対応を求められることがない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	3		安全管理ができているか、職員間で確認し認識を深めていく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2		安心して通っていただけるように丁寧にご家族へ説明する。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	5	1		紙面上だけの確認ではなく、ロールプレイで確認するなど対策を丁寧に確認していく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1		子どもへの対応の知識を深めるよう、機会を設けていく。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6				

事業所における自己評価総括表

公表			
○事業所名	てらびあぼけっと池袋教室		
○保護者評価実施期間	2025年10月15日		～ 2025年11月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	2025年10月15日		～ 2025年10月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月1日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性の高いセラピーを実施することができている。	言語聴覚士、社会福祉士、音楽療法士、保育士などが在籍し、それぞれの専門性を活かしたセラピーを実施している。 またその知識や技術を職員間で共有し教室全体の専門性を高めている。	内部研修や外部研修に参加し、さらに知識や技術を高めていく。
2	一対一でセラピーを行うことで、個別性の高い内容を提供することができている。	お子様やご家族様のお悩みを詳細に聴取し、お悩みに沿った内容を個別で行うことで、セラピーの効果を高めている。	必要に応じて小集団でのセラピーも実施していく。
3	園訪問など外部機関との連携を行うことができている。	ご家族様や園の希望に応じて、園訪問などを行い、情報共有を実施している。	他事業所と連携を図り、お子さまへの支援、保護者様への共有をしていく。
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員間での保護者様からの共有事項が不足している。	事業所間の連携や保育園や幼稚園訪問し情報共有を行っているが、職員間への共有が不足している、支援に偏りが出ている。	職員間で情報の共有をする時間を設けて行き、支援方法の統一をする。
2	地域や保護者との交流の機会が少ない。	保護者同士のつながりが弱まっており、参加のきっかけが少ない。	外部向けのイベント等を実施し、地域との交流を図ったり、お便りやブログを通して教室の様子を伝えていく。
3			